

第一フロンティア生命の外貨建変額個人年金保険

プレミアジャンプ2 ・年金(外貨建)

年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)

特別勘定 月次運用レポート

特別勘定名称

グローバル運用型VA(豪ドル)

この商品は、第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。

2026年9月発行

当商品は、一時払保険料を「定額部分」と「変額部分」に分けて運用します。
当レポートは特別勘定で運用する「変額部分」の運用状況を開示したものです。

[募集代理店]

[引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ <https://www.d-frontier-life.co.jp/>

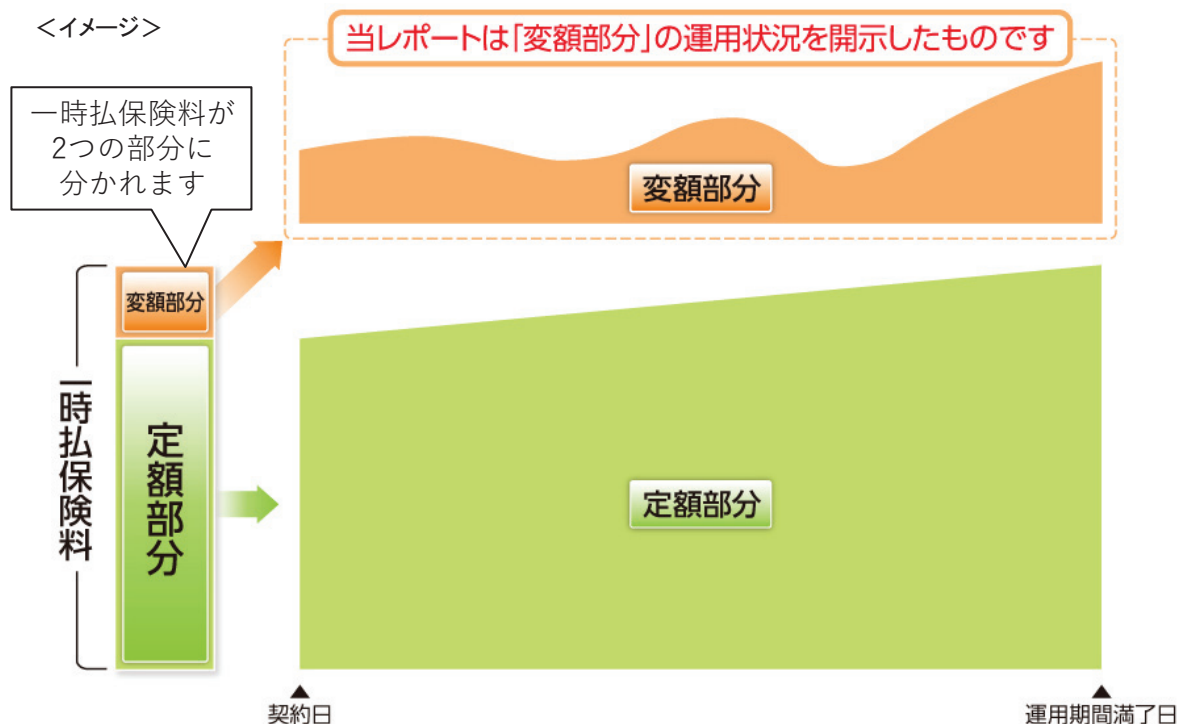
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル

0120-876-126

営業時間 9:00~17:00(土日、祝日、年末年始などの休日を除く)

(登)B24F0511(2025.02.26)

この保険のしくみ図



お客さまに負担していただく諸費用について(この保険に係る費用は、以下の費用の合計になります)

運用期間中	定額部分における費用	直接負担していただく費用はありません。積立利率の計算にあたって、ご契約の締結・維持などに必要な費用および死亡給付金を支払うための費用をあらかじめ差し引いております。
	変額部分における費用	保険契約関係費・・特別勘定の資産総額に対して年率1.85% 資産運用関係費※ ¹ ・・信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率0.22% (税込)
	特定のご契約者に負担していただく費用	解約控除・・この保険の基本保険金額に経過年数別の解約控除率(8.5%~0.9%)を乗じた金額
年金受取期間中	保険契約関係費(年金管理費)※ ²	・・受取年金額に対して1.0%(円貨で年金を受け取る場合は最大0.35%)
通貨を換算する場合の費用	「保険料円貨入金特約」、「保険料外貨入金特約」などの特約の為替レートは、為替手数料としてTTMとの差額(25銭~50銭)を加味したレートであり、その差額はお客さまの負担となります。※ ³ この他に外貨のお取扱いに必要な費用を負担していただくことがあります。	

※¹ 上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券・金融派生商品の取引にかかわる費用および消費税などを間接的に負担していただきます。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により将来変更される場合があります。

※² 年金額は、年金支払開始日以後、年金の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費(年金管理費)は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費(年金管理費)は年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

※³ 為替レートは当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがあります。

特別勘定の運用レポート

2026年8月末現在

特別勘定で運用する「変額部分」の運用状況を開示したものです

特別勘定の投資方針

国内・先進国・新興国の株式、国内・先進国・新興国の債券、国内・先進国のREIT（不動産投資信託）などを実質的な投資対象とする投資信託に投資し、特別勘定資産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託の名称	運用会社
グローバル運用型VA(豪ドル)	DIAMグローバル資産配分戦略ファンドVA (適格機関投資家限定)	アセットマネジメントOne株式会社

特別勘定の主な投資リスクについて

特別勘定は、国内・先進国・新興国の株式、国内・先進国・新興国の債券、国内・先進国のREIT（不動産投資信託）などで実質的に運用されるため、**株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、変額部分の積立金額、解約返還金額は変額部分の一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。**

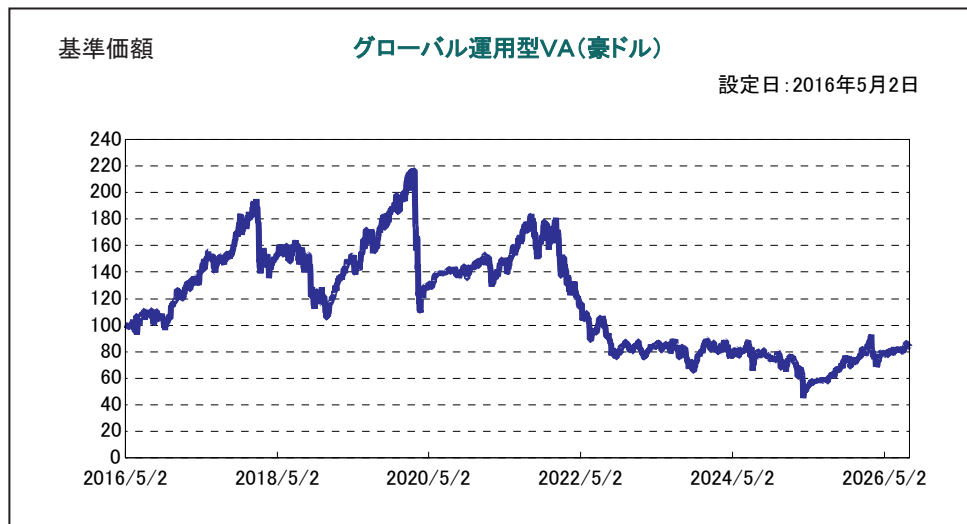
特別勘定資産の内訳

資産総額 (百万豪ドル)	資産構成	
	投資信託	現預金等
1	99.6%	0.4%

* 特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用するほか、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。

* 特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



特別勘定の主な投資対象となる投資信託は円建ての投資信託であることから、豪ドル対円の為替レートの影響により、特別勘定の基準価額の動きと、投資信託の基準価額の動きは異なります。

* 非表示部分を四捨五入

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAMグローバル資産配分戦略ファンドVA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

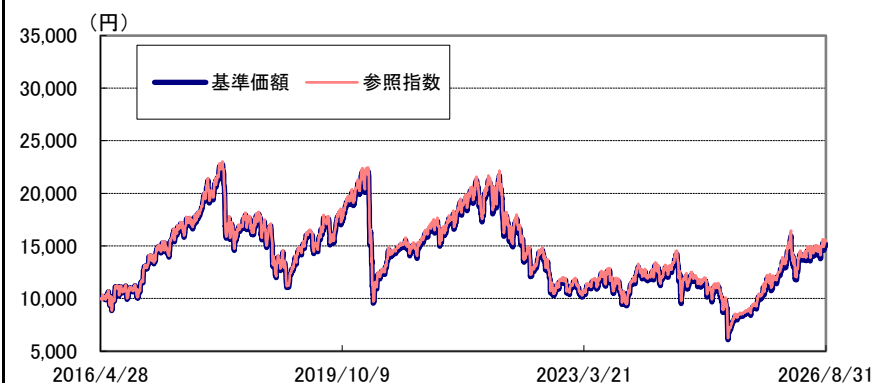
2026年8月31日現在

グローバル運用型VA(豪ドル)が主な投資対象とするDIAMグローバル資産配分戦略ファンドVA(適格機関投資家限定)は円建ての投資信託です。DIAMグローバル資産配分戦略ファンドVA(適格機関投資家限定)は、実質的に豪ドルで運用するのと同様の経済効果があるように運用を行っています。円建ての投資信託であるため、その基準価額は豪ドル対円の為替レートの変動の影響を受けます。

■投資方針

当ファンドは、UBS AGとの間で、「DFL NEO UBS AUD VAJPY インデックス」(以下「参照指数」といいます。)に連動するオプション取引を行うことにより、参照指数の動きに連動する投資成果をめざします。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



※1 基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
※2 基準価額および参照指数は設定日(2016年5月2日)の前営業日を10,000として表示しております。
※3 基準価額は信託報酬控除後です。
※4 参照指数の推移は、UBS AGから提供を受けたデータを基に作成しています。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額 15,069 円
純資産総額 1

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAMグローバル資産配分戦略ファンドVA(適格機関投資家限定)

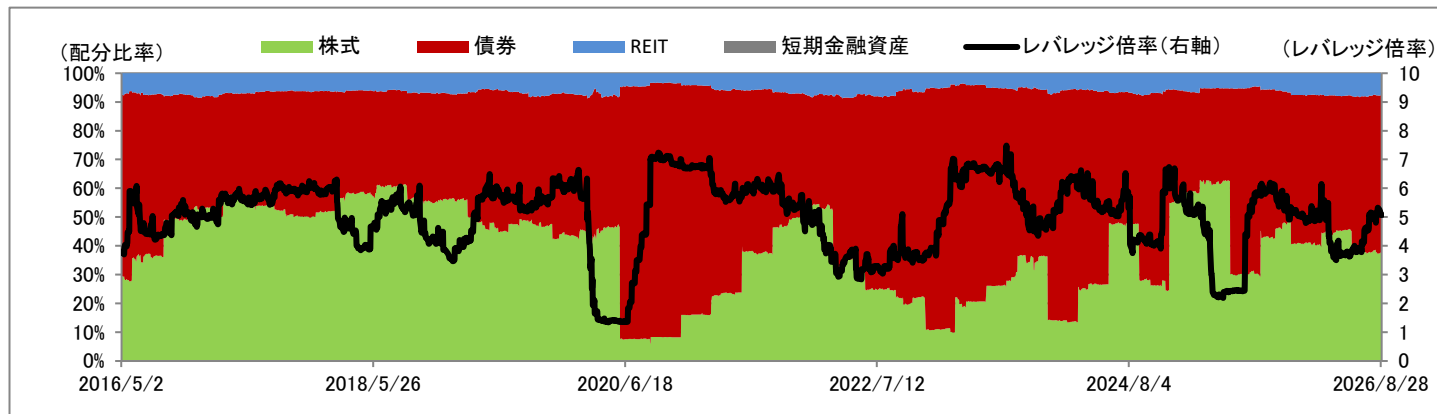
【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

当ページは、UBS AGから提供を受けたデータを基に作成しています。

2026年8月31日現在

【参考情報】

■資産配分比率とレバレッジ倍率の推移(設定来)



■資産配分比率の状況

資産クラス		対象資産	配分比率		1ヵ月騰落率	参照指数 寄与度 (概算値)
			前月末	当月末		
株式	国内株式	TOPIX先物	12.7%	12.7%	5.06%	3.18%
	先進国株式	S&P500種指数先物	13.3%	13.4%	3.34%	2.16%
		ユーロ・ストックス50指数先物	0.0%	0.0%	2.35%	0.00%
		FTSE100指数先物	2.1			

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAMグローバル資産配分戦略ファンドVA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

以下は、UBS AGから提供を受けたコメントを基に作成しています。

2026年8月31日現在

市場概況

8月の株式市場は、国内では、TOPIXは前月末比+3.82%となりました。米国では、S&P500種は前月末比+2.62%、欧州では、ユーロ・ストックス50指数は前月末比+0.98%、エマージング・マーケットでは、MSCIエマージング・マーケット指数は前月末比+3.37%となりました。
債券市場は、国内では、日本10年国債利回りは前月末比0.15%上昇(価格は下落)しました。米国では、米国10年国債利回りは前月末比0.02%上昇(価格は下落)しました。欧州では、ドイツ10年国債利回りは前月末比0.12%上昇(価格は下落)しました。オーストラリアでは、豪州10年国債利回りは前月末比0.17%上昇(価格は下落)しました。エマージング・マーケット債券では、iシェアーズJPモルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETFは前月末比+0.12%となりました。
国内REITでは、NEXTFUNDS東証REIT指数連動型上場投信は前月末比▲3.55%となりました。先進国REITでは、iシェアーズ米国不動産ETFは前月末比▲2.34%となりました。
為替市場では、豪ドルは対円で前月末比1.47%の円安豪ドル高となりました。米ドルは対円で前月末比0.44%の円高米ドル安となりました。ニュージーランド・ドルは対円で前月末比0.30%の円安ニュージーランド・ドル高となりました。

運用概況

参照指数は前月末比で+6.44%となりました。組入れ資産のパフォーマンスについては、日本株式、米国株式、カナダ株式、新興国株式、エマージング・マーケット債券がプラスとなり、英国株式、米国2年債券、ドイツ2年債券、カナダ10年債券、国内REIT、先進国REITがマイナスとなりました。平均レバレッジは510.52%となりました。